

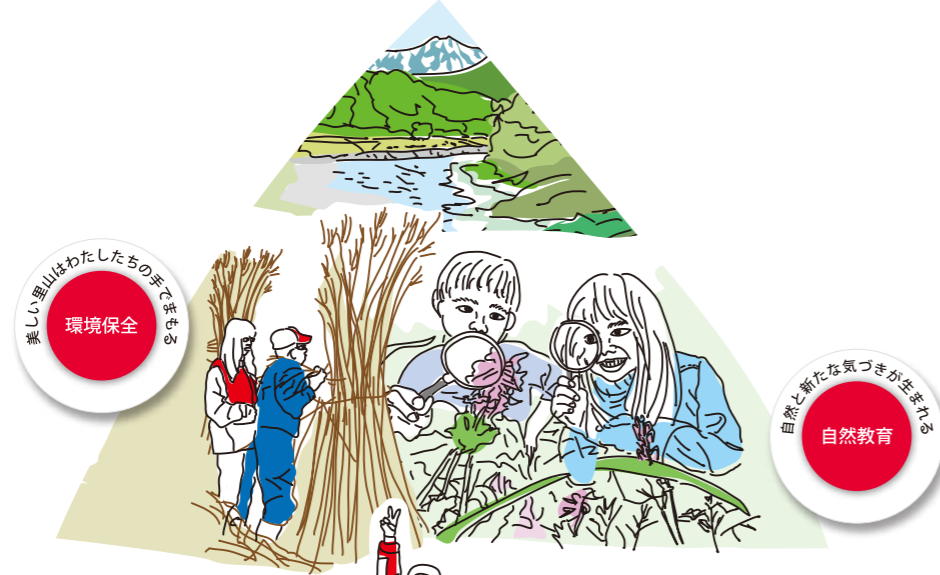


水のみなもと「みなかみ」だから、できる

谷川連峰から流れる清冽な水、多様な動植物が棲む森、そして自然と共に生きる人々。

「みなかみ」は、自然をまもりながら観光や農業、人々の暮らしにいかし、自然の尊さを伝えひろめる世界的モデル地域です。特別なことをしなくても「みなかみ」にふれあうことで自然との共生はすすみ、SDGs 達成へと結びつきます。「みなかみ」での体験は知らず知らずのうちに、世界に貢献し地球環境の存続に寄与しています。

はじめの一滴から広がる可能性



美しい里山はわたしたちの手でまもる
環境保全

自然と新たな気づき生まれる
自然教育

子供から大人まで魅了する源流ラフティング



ローカルビジネスにチャレンジ
地域産業振興

農家さんにいつも感謝だね！

みなかみの“香い”をつくろう

SDGs 未来都市「みなかみ」



みなかみ
ユネスコエコパーク

2017年6月みなかみ町は自然と人間の共生社会を目的とする取り組みが評価され「ユネスコエコパーク」（正式名称は「生物圏保存地域」）に登録。みなかみ町では貴重な自然と人々の暮らしを次世代へつなぐ町づくりをすすめています。

2019年7月みなかみ町は国から「SDGs 未来都市」に選定。豊かな森林資源をユネスコエコパークの理念のもと活用することで、経済・社会・環境の持続的な好循環を生み出し、地域と地域に訪れる人相互が潤う。それがSDGs 未来都市「みなかみ」です。



一般社団法人 みなかみ町体験旅行 群馬県知事登録旅行業 2-483号 (一社) 全国旅行業協会正会員
群馬県利根郡みなかみ町夜野 1744-1 TEL 0278-62-3450 (代表) FAX 0278-25-4340 Email info@m-tr.jp https://m-tr.jp



のびしろは、 未来を生き抜く力になる

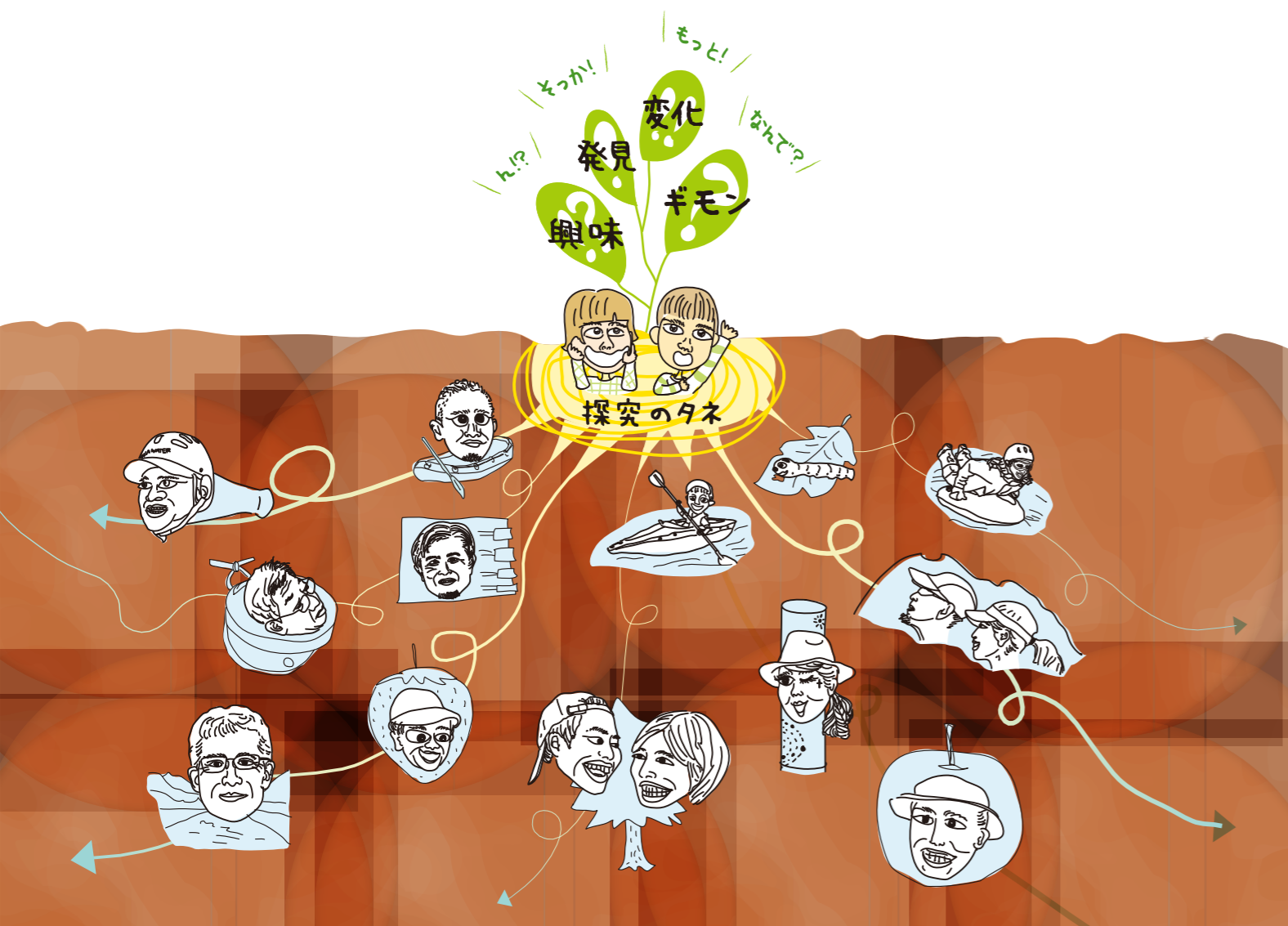
大切なのは「どこで?」よりも、「誰と、何をして、どう感じたか」。

私たちが大事にしてるのは、行くことが目的、知識を集める旅行ではなく、「地域の本物」に触れることで「探究のタネ」をみつける答えのない旅。

自然に「探究の根」を四方八方にのばし、その根っこから水や養分を吸い上げて「興味や発見、変化」の芽を自分らしくのばす。

子供たちの中にはあるのは、無限の「のびしろ」。

答えのない時代だからこそ、想像を超える自然の楽しさ・厳しさを通じて「未来を生き抜くちから」を育むきっかけを創りたいと考えています。



どこよりも濃い体験を、学校とともに創るパートナー みなかみの体験プログラムとは?

できない理由より、できる方法を。結果よりプロセスを。
予想の枠の外側へ、自分で考えて、一步踏み出してみよう。
地域の大人を巻き込んだ対話の中から、引き出す興味や問題意識。

私たちは、学校における探究学習のパートナーとして、
子供たちの人生の根っこを形作る、体験を企画いたします。

[導入学校の声]

生徒の“主体性”で変わる、「余白」の仕掛けがある。

「夢」とは自分で掲げ、自分で叶えていくもの。
大切なのは他人まかせではなく、自分が「主役になる」ことです。

学校とは、一人ひとりの「夢を叶える」土壌です。種は教員が蒔きますが、その種から芽を出すのは生徒自身の力。その芽が成長していく過程には、水分や栄養分のように学外から刺激を与えることが必要不可欠です。

みなかみ町体験旅行には、生徒の満足度や安全性を十分に担保しつつ、生徒の主体性によってゴールが変化する「余白」が含まれています。この「余白」が絶妙な仕掛けとなってただ一時の楽しさで終わるのではなく、真の学びにつながる校外学習になっています。

生徒・教員・学校、そして学外とのつながり。この関係性こそが、生徒の生きる根っこを育み、生徒自身が安心してのびしろいっぱい成長することにつながります。

IT化、コロナの流行と激変する教育現場で、これからも変わらないもの。それは、我々教員の「情熱」です。この泥臭い「情熱」に精一杯応えてくれるみなかみ町体験旅行と、今後も「絶妙な仕掛け」を一緒に創り上げたいと願っています。

茨中学校 茨高等学校 探究係主任 見上圭佑
(みなかみ町の自然や人に魅了された茨学園教職員一同)



「主な実績」

町内で活躍する様々な地域人財との体験や対話を通して、自然資源の尊さやそれらを守り伝える大切さを感じる体験プログラムをご提供しています。2021年度まで累計1,242団体/104,456人*の体験受入を行いました。2020年度からは、地元の小学校向けに町内や県内を再発見する修学旅行や授業を企画・実施。地域の住民向けにはSDGs理念の普及を促進する研修会を開催。子供から大人まで地域住民の「輪」を広げ、持続可能な地域づくりの一翼を担っています。

*2022年3月現在 みなかみ町体験旅行調べ

想像を超える体験を、^{とも}^{つく}共に創る！^{それが}みなかみ町体験旅行のやり方です

大人も子供も関係ない！真剣に向き合い「ありのまま」をシェアして「本音」で語らうこと。

もちろん、楽しいことばかりじゃない。つらいことも思い通りにならないこともある。
悪天候だったり、収穫物が何もなくなったりすることもある。

そんなピンチも **視点を変えてチャンスにする** ポテンシャルが、みなかみにはあります。

「ユネスコエコパーク」や「SDGs 未来都市」に選定された大自然を舞台に、

子供たちと「みなかみ人」が **一体となって真剣に遊び、ともに学び合う** 中から

「考え・感じ・挑む」ちから を引き出します。

学校導入事例

【高校1年】新入生オリエンテーション合宿

「仲間と協力する」ことの真の意味を知り、クラス作りに役立つ

導入として、仲間と協力して漕ぐ急流下り「利根川ラフティング」で心身を解放し、「チームビルディング」では、クラスで課題解決に挑戦。「協力するとは」「仲間とは」を意識づける1泊2日のプログラム

【中学2年】夏の校外学習

地域の人、暮らしに触れ、先人の知恵や様々な価値観に出会う

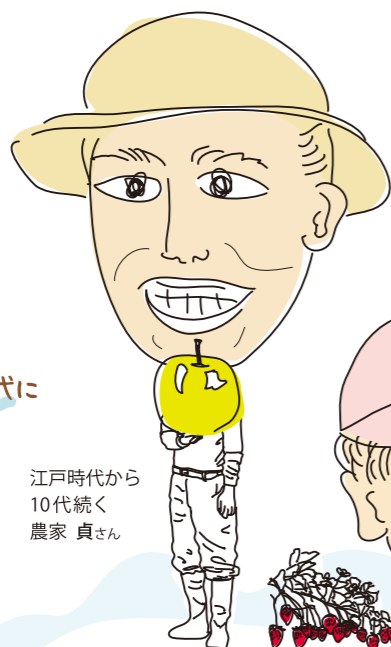
水をテーマに都市と地域のつながりを感じ取る「一ノ倉沢ハイキング」と、日常を離れ地域に一步踏み込む「里山生活体験」の組み合わせは、自然と人の共生や多様な暮らし、生き方があることを知る2泊3日のプログラム

episode 1

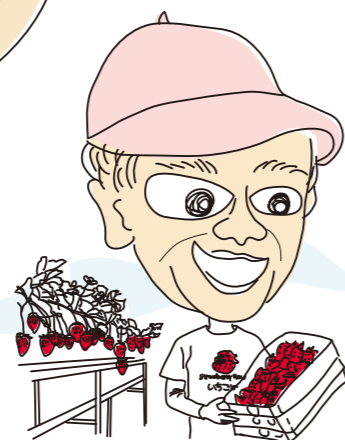
1個のりんごに、物語と驚きが！

これまで何気なく食べていたりんご。冬の剪定、摘花、摘果、葉摘み、玉回しと、実は大変な手間をかけて育てられていることを子供たちはりんご畑で知ります。

農の6次産業化で「バトンをつなぐ」
先人から受け継いだ農業を次世代に



江戸時代から10代続く農家 貞さん



いちご農家&ラフティングガイドのりさん

ローカルベンチャーに挑戦
IT農業とアウトドアビジネスで人生二毛作！

生きざまがスゴイ！
みなかみの
偉人変人たち

子供たちとともに みんなと

共創

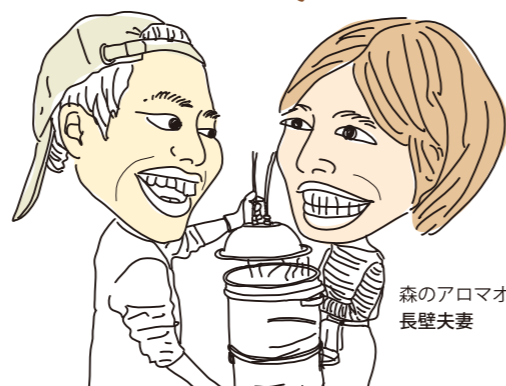


ラフティングガイドスズンダーさん



カスタネット職人 富澤さん

ローカルを極めてグローバルから注目！



森のアロマオイル生産者 長壁夫妻

自伐型林業で循環型社会に挑戦！
「自分の学校の香り」を子供たちと作る



うまくいかない時こそ成長する！

オーストラリアで修行リバーガイド 剛さん



欲しいものは自分でつくるのさ！

竹灯笼クリエイター 由里さん



山岳界の名物ガイド 正二さん&美成子さん

episode 2

ラフティングでチームビルディング

エキサイティングな川下りより意外にも難しいのが湖面でボートをまっすぐに漕ぐこと。人のせいにならず、みんなのために今、自分がやるべきことを考えます。

「人とぶつかったってことを知る」
国内第一人者がチームの真髓を伝える



アドベンチャーレーサー 田中正人さん

仲間がいるから一人ひとりを尊重し、「持ち味」を引き出す



個の力をMAXに！ファシリテーター ハヤトさん

山は「登頂がすべてじゃない」
探検に終わりはない